

進路を考える会 議事録

コース：国際・外国語系 大学、学部名：東京外国語大学言語文化学部言語文化学科

・進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由を教えてください。

2年次にパートナー校交流に参加して、考え出した。最終的に決めたのは、3年の初め。パートナー校交流に参加したことで、もともと好きだったが、興味が増した。スペイン語はもちろん、文化や政治経済など幅広い知識を得ることができることが魅力になり、外大のスペイン語学科に決めた。

・どのような入試方式でしたか？また併願校はどのような基準で選びましたか？

一般公募

外大以外考えていなかった。一般入試だけのつもりだったが、外大を受けられるチャンスが一般公募という形でもあることを知り、チャンスを増やす目的で公募を受け、合格することができた。

・本格的に、受験勉強を始めた時期はいつですか？

元々、推薦を狙うのであれば1年次から勉強が必要。自分はそういう訳ではなかったので、2年の春から、成績や日常生活態度を意識した。3年の春から本格的な受験勉強を始めて、7月から公募の対策をした。具体的には、国際関係やスペイン関係、外大の先生の出版しているものなど、多数本や新聞を読んだ。

・どのような勉強方法でしたか？

朝7時に学校に来て、勉強をした。復習は学校で済ませてから帰宅。学内でもやる場所を決めて、ルーチン化できるようにした。塾には通わず、通信のZ会を使って演習をした。公募の勉強はとにかく本を読んだ、20冊以上は読んだ。小論文の練習は学校の先生にお願いした。

・おすすめの参考書はありますか？

特にない。通信のZ会についてくる冊子を主に使った。自分が受ける外大の学科の先生が出版している本を読んだ。

・部活や委員会、行事との両立についてアドバイスをお願いします。

何事にも全力で取り組む。全力で取り組むと集中力が身につく。

行事に全力で取り組むと、結果的にグローバルキャンプやパートナー校交流など、高校生活で自分が何をしたのかという取り組み報告を書く上で、プラスになった。

・1年生または早くからやっておいた方がいいと思うことはありますか？

英単語は早くからやっておいた方がいい。

好きなことは何なのかを考える。

本当はアメリカに留学して理系を考えていたが、パートナー校交流に参加してスペインがやっぱり好きだと思えたので文転した。

いろいろな行事に参加することで、自分は何が好きなのかに気づくことができる。本当にやりたいことが何なのか考えて高校生活を送ってほしい。

・受験を振り返り、感想を聞かせてください。(家族にしてもらって嬉しかったこと、嫌だったこと)

意識はしていなかったが、かなり緊張はしていた。校内選考→一次→二次→発表と結果を待っている期間が過緊張だった。

親には愚痴を言って、ストレス発散をさせてもらった。

気持ちが追い込まれているときに、親に公募がダメだったらどうするの？と言われたときはイラっとした。今を全力で頑張っているのだから先のことには言わないでほしい。

・大学の授業内容、学校生活全般の感想を聞かせてください。

また、入学前と印象の違いはありましたか？

外大はまじめ。キャンパスは田舎。

言語をやりたい人にはお勧めで、74言語が学べる。授業はレベルが高く、スピードも速い。少人数でやるので、わかりやすい。頑張れば何言語でも身に付けることができると思う。

思ったよりグローバルなつながりが少ない。自分からチャンスを作らないとだめ。

英語の授業は案外少ない、英語を学びたいなら英語学科にいかないとだめかもしれない。

希望すれば、短期間から年単位のものまで、全世界に留学に行かれるチャンスがある。

・現役生に伝えたいことがありましたら、ぜひお話しください。

推薦入試にハードルを感じないでほしい。国立大学の公募推薦？と思っていたが、この大学に入ってこれをやりたい、こうしたいという思いがあれば、大丈夫。

定期テストを含め、普段の成績をしっかりとっておいてください。

神奈総で楽しい事、やりたい事にはすべて挑戦しておいてください。推薦受験の書類は、高

校での学びが 2500 文字で志望理由（1000 文字）よりずっと多くの割合を占めています。それだけ、高校でどのように過ごしてきたのかを大学側も見ている。神奈総の 3 年間はやりたい事ができる貴重な時間なので大切にしてください。

<質疑応答>

・資格は何を持っていますか？

TOEFL、TOEIC を受けました。結局は幼少のころから慣れていた英検（準 1 級）を推薦入試で使いました。

・将来の夢は決まっていますか？

パイロットになりたい。だからアメリカで理系の勉強をしたかった。パイロットは狭き門で採用が少ない。一本に絞ってしまうとダメだった時のリスクがある。そんな時にスペインの魅力に気付いた。調べてみると外大からも毎年パイロットになる人が数人いる。パイロットの道を追いかけて、好きなスペイン関係で仕事を見つけられたらいいと考えている。

・塾の決め方はありますか？模試はどの程度受けていましたか？

朝方だったので、夜遅くまでの塾は向いていないと考えていた。それで通信の Z 会を利用した。

模試は、あくまでもコンディションの確認に使っていた。成績で一喜一憂することはなかった。それより、本番最高の状態で臨めるように自分の体調のベストを探した。